
暗号XYZ

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗号XYZ

【Zマーク】

Z9893C

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

まあ読んでください評価お待ちしています

「そこの？ライポン？を取つてくれないか」

「自分で取りなさい。じゃ返すとき？セロハン？持つてきてね」

「なんだよ面倒臭いな？ネコヒゲ？だ」

（訳）順番に食器用洗剤、セロテープ、面倒臭いから今田は髭を剃らないの意味。

これらは一応、高木家内部でしか通じない言葉だ。表に『高木』という表札が付いた四つの壁で囲まれた中は、わたしたち単一民族日本人の中の高木村で通用する公用語であろう。縄文人は第三系親族まで一緒になって移動をし、原っぱの真ん中を借りて小さな集落を作った。謂わば 高木集落 という分けだ。

なんだ、わたしの家でも同音同義で使うよという人もいるかも知れない。同じフィーリングを持つものどうしだから、以心伝心という分けだ。もちろん一つの村落を守つて行くための高木家遺伝子情報に組み込まれている。他者からの妨害を遮断させるための暗号。

朝鮮民族は代々立地条件の良さから、しおりゅう侵略を受けた。だから彼らは暗号文字を考えた。それがハングル文字である。あれも一定の法則を学習すれば、読めるようになっている。日本でも伝統芸能であ・うんの呼吸という言葉が使われる。日本舞踊はビデオや誌面で学習してはいけない掟がある。師匠と一对一で、生きた肌と肌で触れ合い覚える（授かる）ものだ。

その組織内部にしか理解出来ない言葉は、おののおのの組織一族が目指すモットーというものを鏡のように映していく好きだ。嫌ならば辞めてしまえば良い。黒いアヒルの子は他所へ行きやがれ。

わたしはこう思う。

わたしはこう考える。

わたしはこうやって生きて行く。

世界六十五億人が、それぞれの思いを抱きながら生きて行ける社会には、暗号も平和の武器となる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9893c/>

暗号XYZ

2010年11月9日06時00分発行